



第17回みんなの就労支援の会 懇談会

地域における女性医師等支援のための会

令和7年12月27日（土）に、第17回みんなの就労支援の会～講演会・座談会～を、医学部棟本館HIMAWARIラウンジで開催しました。医師20名、医学生7名、医学部教員1名、会を支援する人1名の計29名（内WEB参加1名）が参加しました。

当日は朝日大学の教授であり、みんなの就労支援の会のアドバイザーである清島真理子先生の開会の言葉ののち、**岐阜大学大学院医学系研究科 内科学講座 呼吸器内科学分野教授 津端由佳里先生**にご講演いただきました。

【特別講演】 「キャリアについて思う事」

- 薬学系研究員としてのキャリアのスタート
- 医師となり新たなキャリアへ
- 医師としてどのような気持ちで研究を行ってきたか

講演では、津端教授がこれまで取り組まれてきた研究内容をはじめ、薬学系研究員として勤務された中で感じられたキャリア上の悩みや、その後医師として活躍する過程で経験した様々な困難を転機とし、自身の関心に基づいた研究に取り組みながらキャリアを積み上げてきたことなどを話していただきました。また研究以外にも、今後岐阜大学でどのようなことを大事にして医局を運営し、若い医師のキャリアをサポートしていきたいか、等お話しいただきました。

講演後に行われた座談会では、多くの参加者が自身のキャリア形成に対する考えや現在抱えている悩みについて率直な意見を交わしました。参加者同士の様々な思いに対し、津端教授から一人ずつに温かいご助言いただきました。参加者からは、「医師のキャリアの形成や働き方の課題について考える貴重な機会となった」「他の先生方の悩みや奮闘を聞いて、明日からまた頑張ろうと思った」などの意見が寄せられました。

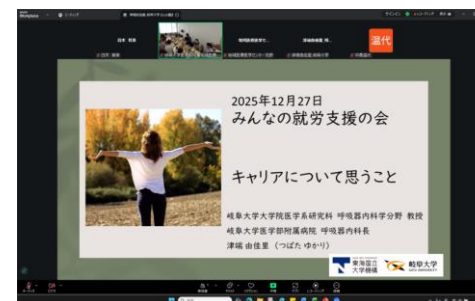
さらに岐阜県医師会の近藤由香先生より日本医師会ドクターバンクを始めとするドクターサポートセンター事業や、岐阜県医師会の男女共同参画事業につきご紹介いただき、医師の多様な働き方やそれを支える仕組みについて理解を深める機会となりました。

年末の多忙な時期ににもかかわらず、ご参加いただいた皆様に深く感謝申し上げます。

本会は日本医師会ドクターサポートセンターの事業として開催しました。
また、岐阜県の「岐阜県女性医師等就労環境改進黨」の補助金を利用し開催しました。



岐阜大学医学部・同附属病院
みんなの就労支援の会



HIMAWARI
ラウンジ

主催：岐阜大学医学部附属地域医療医学センター
共催：岐阜県医師会、岐阜大学医学部・同附属病院みんなの就労支援の会